

## 第2回八王子駅北口駅前広場改善検討協議会 議事要旨

開催日時：平成22年2月3日（水） 15時～17時

場 所：クリエイトホール10階 第2学習室

### 出席者

（委員）鹿島 茂、小峰 千春、宮瀬 睦夫、青木 訓行、前野 博、味岡 隆士、丸山 武、稲川 芳江、前川 幸子、渥美 浩孝、大平 哲也、井上 善央、内田 瞭、原島 一、小林 昭代、小林 隆宣、天賀谷 通忠、山田 政文、中山 恒夫、榎本 了、小野 晃（代理出席）、倉島 崇（代理出席）、西山 忠（代理出席）  
（事務局）

1. 開会挨拶（山崎課長）

2. 挨拶＜鹿島会長より＞

3. 副会長の指名（鹿島会長）

4. 会議の開催方法等について（山崎課長）

5. 議事

（1）八王子駅北口駅前広場改善の検討

○市政モニター結果についての報告及び広場改善のイメージ図について説明

### 質疑応答

【委員】資料は一週間前までに提出して欲しい。意見が出せない。

協議会は3回で終わるのではないのか。

【事務局】3回目までに方針を出していただければ。全体の計画については協議会を引き続き継続して検討を行っていただきたい。

【委員】「今ある物を有効によりよいものを。」は、元々、「足りないものはつくる。」を含めた3つのコンセプトなので、前回提案したとおり、ブリッジではなくペDESTリアンデッキにつくり替えるべき。

予算がなければ順番を決める、予算が出来たときに全部つくり直すという考えはどうか。つくり替えるのではなく、改善というのが大前提では話が進まないと思われる。

【会長】道路予算が厳しく、つくり直すのは難しい状況のため、市の提案は、「今あるものを有効に」という形になったと思われる。改善には、足りないものを全てつくり替える、できるだけ今あるものを有効に使いながらと言う考えがある。つくり替える可能性が無いわけではないと思わ

れるので、広めにお考えいただいて、議論を進めていただきたい。

【委員】資料の6ページについて、今のロータリーに一般車を入れることができないのであれば、地下駐車場に一般の送迎車両も解放するべき。

駅にアクセスするのに一番安全で、使いやすいはず。これを前提に検討したい。

【事務局】一般車両の乗降所は市民の皆様からも大変多くの要望をいただいているので、設置をしたいと思っている。その一つとしての地下案なので、ここが良いかどうかも含めてご議論いただきたい。

【委員】南口も同じく、駅前に車が入れない。60万都市なのにそのような施設が無いのはおかしい。地下駐車場は15分以内であれば無料で利用できるが、きちんと5分程度の駐車が出来スペースをつくって、市民や訪れた人に知らしめることが大切だと考える。

【事務局】60万都市でそういう施設がないというのが最大の課題と言うことですが、いかに安全性を保って、整合を図れるかが課題になると思われる。もう少し期間をいただいて駐車場の利用実態方法等を分析して、安全を保てる答えが出れば設置に向けて検討を進めたい。

【委員】安全性を確認してからではなく、安全性を保つようにつくれば良い。

【会長】(駅前ロータリーには)乗用車とバスが一緒に入れるところ、地形を利用して2段にしているところ、又は、駅ビルにいろいろな施設を整備しているところとなどがあり、使用面・景観・安全性などの評価もある。今日の段階では、少し時間をいただいて、幾つかの案を検討させていただいた上で、また提示させていただくということではいかがでしょうか。

【委員】資料5ページの改善イメージについて。マルベリーブリッジは残して、その周りにマルベリーブリッジと同様のブリッジを付けるイメージなのか。また、東西放射線に関しては、広場的なものと考えて良いか。

【事務局】市政モニター、皆様からの前回の意見等を踏まえて、作成したイメージ図になる。現在あるマルベリーブリッジはそのまま生かし、新設のデッキで東西放射線と結び、それぞれを東急側で結ぶイメージ。将来的にはなるかも知れないが、周辺施設への接続や、イベントスペースの確保などもイメージとして考えている。

【委員】資料10図について。中央の島にあるバスの乗降所へはどのように行くのか。

【事務局】今のマルベリーブリッジを生かしてデッキからの利用を考えている。

【委員】我々の所属する会からも資料を事前に提出して欲しいという意見がある。

駅前の桑並木通り方向からきた車のUターンは、急角度のため、合流が比較的難しいのではないか。

資料9図について。イベントスペースの設置は良いが、下部の大きな日陰や、排気ガスなどの影響も考えて欲しい。

資料11図について。イメージ図では、交通体系が分からない。示されていないと判断ができない。

交通体系は広域に考えていただきたい。

タクシープールの改善について、1列駐車の実現は、現実的には難しいのではないかと。交通(動線)についてはシンプルに考えていただきたい。

【会長】イメージ図やコメントについては、こう改善するという意味なのか。それとも、今までいただいた、色々な意見や、市政モニターに対応するコメントを示しているのか。

【事務局】基本的には色々なご意見に対応するイメージとご理解をしていただきたい。

【会長】これしかやらないとか、これが一番いいと言う事ではなく、みなさんのご意見をまとめているということでもよろしいか。

ロータリーの問題、日照の問題、デッキの下の問題、タクシーの問題、駅前広場全般交通の処理の問題など、今回いただいた意見も含めて案を整理して次回提示していただきたい。

【事務局】今回のイメージ図は、あくまでもイメージということで細かい部分は表現が不足している。今回の協議会で皆様からのご意見をいただければ、次回には、イメージ図を基に、動線計画など具現化した図を提示させていただきたい。

【会長】今回は、イメージ図をたたき台にご議論していただきたい。

【委員】バスに乗るためにはエレベーターに乗る必要があるのでは時間がかかる。また、ワークショップの件についてはどうなっているか。

【事務局】前回ご意見いただきましたワークショップについては、皆様にご理解をいただければ、実際見ていただきたいと思います。

【会長】エスカレーターを最初に設置した頃の消費者の反応は、「何でこんな無駄なものをつくったのか」と言うような反応だったが、わずか2、30年の間にこれだけのことができるようになった。そのため、それまでには、どうしても無理してつくれるところにつくり、実際の利用者の方には不便をかけてしまっているような所も多々あるだろうと思われる。そういう所も含めて意見をいただきたい。

ワークショップの件に関しては、事務局も、実際に使っている方からご意見があれば検討したいとのことなので、前向きに検討していただくということでしょうか。

また、イメージ図に関して、一方は京王の方へ向かって、もう片方は、歩行者・商店街の方に延ばしていく案。もう一つは、立派なものにつくり替えるご意見等がありますが、当面はこのように動いて、中心市街地の検討会、再開発などの経過をみながら調整をしていくのはいかかと思われる。ただし、計画については、まとまった時点で、いろいろ変更もあると思われる。

るので、その対処も含めてして議論していただきたい。

お伺いしていますと、絶対的なイメージとしては、そんなにおかしなものではないのではないかと理解をさせていただいて良いような感じもありますが、おかしいと言う意見の方は、発言をお願いしたい。

【委員】実際に運用しているタクシー・バス会社の方々は、このイメージ図を見てどのように感じているのか。

【委員】乗り場の数が非常に少なくなってしまうだろうと思われる。イメージ図の外周接車型、アイランド方式のように直列に並べた場合、現在の15バースは収まらないだろうと思われる。Uターンについては、危ないのではないかと。桑並木通りのバス乗り場は、遠いため、不便ではないか。

【会長】イメージ図は、決定図ではなく、今までいただいた意見を絵に落としてみたものと理解していただき、今のようにご意見をいただければ、今後検討されて、より現実的なものになると思います。

15バース取れるかどうかの質問について（事務局に）意見はあるか。

【事務局】今の意見について、今回はイメージ図ということで、次回協議会では、水準を明らかにしながら、車の軌跡などを検討し、配置図を決めていかないといけない。15バース全部とれるのかについては、今の段階ではアバウトだが非常に難しいということになる。

【会長】当然これも、調整をされた上で決められますので、大きく不便になるようなことは無いと理解した上で、具体的な詰めはこれからしていただきたい。今回の議論の段階は、基本方針として、このようなものはいかがかどうかのご意見であると理解していただきたい。

【委員】昭和28年に駅が現在の形になったが、以前の駅前広場には一般車の乗降所があった。だが、早いもの勝ちで駐車されてしまい、その後は、他の車が来ても停車できないため、駅前広場内に一般車の乗降所を無くした経緯がある。

予算については、たくさんお金をかけていいものをつくったほうがいいと思う。

【会長】駅前が現在の形になった経緯は若干整理していただきたい。

道路の理念の中のオプティミズムバイアスでは、交通関係の整備の計画をつくると、利用する人の予測値は必ず大きめになる。工事費は安めにでる。工事期間は、短めになってしまうと。問題は、こういうことがだんだんわかってきたら、それにどう対処していくかということ。その分のリスクはみて評価をしていくことも一つの考えだと思われる。お金が貯まるまでものをつくるのをやめるのも一つの考えだと思われるが、残念ながら予算などは非常にタイトである。その状況下で皆さん方に今回ご判断いただけないかなと思います。

【委員】バスの乗降所の問題について、南口のバスの乗降所に余裕があれば、南口に移すことは可能かどうか。

【委員】現状の4バースから、5バースになる。市民会館通りの開通のため、1バース増となっている。今後の路線の設計は、バス会社のお考えになると思われる。

一般車の乗り入れ部分については、南口の駅前広場の中には入ることはできない。ただし、北の方の新設道路部分に、警視庁とのいろんな調整はあるが、一般車の乗り入れを検討している。

北口の一般車乗降所は、地下の駐車場を利用した方が駅に隣接しているため良いのではないかと。ただし、物理的にできるかどうか検討する必要はある。または、南口を造成の際の警視庁との協議の中では、一般車と公共交通は別にするような方針がでていたが、今は、一般車も入れようと言う考えに変わってきているので検討の余地があるのではないかと。

【会長】南口にも、流動的な要素がいくつかある。南口と北口の一体としての機能を踏まえ検討していただきたい。ただし、全ての計画が固まるまで何もしないのではなく、方針などを検討していただきたい。交通量の減少や、社会情勢・生活の変化に応じて、今あるものを再構築させていくのも大切な視点ではないかと。

【委員】先ほどの南口の話は現在調整中。

資料10図について、図のような乗り場の形では、歩行者通路にバス乗降者が並ぶため、駅前広場の通路が非常に狭くなる場所は認識をいただいて、ご議論をいただきたい。

【委員】この改善は駅にも近く非常に重要だと思われるので、着工がいつになるかが心配。

福祉センターの改修など、他の計画との関係はどうなっているか。

【委員】八王子市内の3つ福祉センターの改修なども含めて、総合的な計画をすすめていきたい。ただし、福祉センターと北口駅前広場の改善とは（工期的には）直接の関係はない。

福祉センターの整備計画の方はこれからもう少しご相談をさせていただきたい。

【会長】今回のイメージ図は、全てを一斉に改善する訳ではなく、全体の考えとして、問題の部分から最初に改善を進めるのはどうか。全体のイメージについては、八王子の街づくりに関係する多くの計画の熟度が高まったところで、動いていってはどうか。

【委員】駅前だけではなく、周辺をどのような交通体系とすれば一番駅前がスムーズに動けるのかを、次回見せていただきたい。バスの15バースで、地表面だけで無理であれば、何らかの形を考えなければならないのでは。

資料10図について。外周接車方式は、人間にとっては、上下の動きがないため、奥の乗降所へも、地表面を動けるようであれば、現状では一番よいのではないかと。

ソフトの部分をもう少し検討すれば、バスバースの不足や、路線数、朝夕の混む時間以外の自家用車の送り迎えなど、役にたつのではないかと。

タクシーが駅前に常時4,50台いる必要があるのかどうか。ショットガン方式になって駅から多少離れたところにプールを用意する方式などもあるのではないかと。

資料の9図について。今のアイデアでは、ペデストリアンデッキをつくるのですね。

【委員】タクシーについて、前回の改善で、55台から44台になり現状のような並び方になっている。駅を中心から東側がタクシー、西側がバス、というような駅前広場から、現在のような使い方に変えた。

【会長】そこで活動をされている方がいて、改善をすることは利便さを再配分しなければいけないため難しい。

ソフトの改善も、状況の変化に柔軟に対応しようという声がないと難しいが、このように集まって、議論をすれば、ソフトの改善も良い方向に向かうのではないかと。

行政も、(建設部門・道路部門などでも)進み方は、遅いかも知れないが良い方向に動いていると思われるようなことも含み、(事務局の)意見はどうか。

【委員】駅前広場だけでなく、周辺を含めた交通体系という意見について、土地利用の形態の位置づけがだいぶ変わってきているため、足りないスペースを現実的にすぐ生み出せるかという問題などがある。そういう中で、将来的な交通や、当面の計画という整理の仕方をしていくしかないのではないかと考えている。

【委員】特に、旭明神町地区計画については、駅前は最初に影響するため、それをあわせて交通体系をもう一回見直さないといけないのではないかと。仮に、コンベンションモールなどができた場合には、交通体系が大きく変わる可能性もある。今すぐ、決定するわけにはいかないと思われる。

【委員】旭明神町地区計画については、現在、細かい内容をつめている。今後、内容を北口駅前広場の検討に踏まえたい。

【会長】今の計画は、早くなる可能性もあるかも知れないが、平均的に5年ぐらいはかかるのではないと思われる。その5年間何も手をつけずにいるのか。それとも、動いていることを念頭に置き、無駄のないようにしていくために、どこから手をつけたらよいかを検討するかなどを検討した上で、地元の方に言っていただければ、行政の方も動けるのではないかと。全部決定してからでない動きようがないとすれば、延々とできなくなってしまうのではないかと。

【委員】マルベリーブリッジ自体は残すような考えについて、何年かかるかわからないが、エスカレーター・エレベーターなど、早急に改築しなくてはいけないところがあると思われる。

【事務局】前回も今回も出ている意見として、短期的な整備、長期的な整備という形で考えざるを得ないと思われる。まずは、エスカレーター、エレベーター、案内標示の改善など手を付けられる部分から進めていきたいと考えている。

【委員】本当に便利になるようなものにして欲しい。

【事務局】財政事情も厳しいところもありますので、前回意見をいただいた、京王プラザ前の交差点改

良など、いろいろなご意見の優先順位を考えなくてはならないと考えている。

【委員】非常に大きなバスターミナルもあり、JR・京王の乗換えもある八王子は、バス・タクシーの利用者からすると必要な場所だと思われる。ただし、標示を替えるなどの工夫をして、15バスから減らすことや、タクシーを左右からの乗降を可能にするなど、駅前広場内の問題も柔軟的に考えることは可能ではないか。

エスカレーターの問題についても、マルベリーブリッジからバス乗り場への階段を、エスカレーターに替えるなどのことでも、改善は図れるのではないか。費用的には厳しいこともわかるので、ソフト面、ハード面、利用面などで工夫していけばよいのではないか。

【委員】タクシー乗場については、乗車場と降車場を分けるのも便利ではないか。南口も北口も含めての検討課題ではないか。

【会長】バスベイ、タクシーベイ、一般乗用車の配置についてご意見をいただきましたが、社会実験などもやりながら、使い勝手の良いものと考えていただければと思います。また一つとして、エレベーター・エスカレーターなどの改良の部分に関しては、皆さんどなたも異論が無いようですが。他にも、ここはまず手をつけた方がいいのではないかなどの意見がありましたらどうぞ。

【委員】北口のタクシー乗り場は降りる場所が特定されていないのではないか。乗車時は4列並びで、まっすぐに駅から降りてスムーズに乗れるが、降車時は、タクシーが並んでいる一番外側に降りるため、並んでいるタクシーの間を抜けて歩道にあがる。荷物を持っていたり、足のご不自由な方などには危ないのでは。今回のイメージ図には、乗車場の記載のみなので、降車場も検討が必要と思われる。

現在の北口は、照明が暗いのではないか。

【委員】駅から、クリエイトホールまでの地下通路も暗い。工夫の仕方があるのではないか。

【会長】市も、エネルギー消費を下げなくてはいけないとは思われるが、是非知恵を出していただきたい。

マルベリーブリッジの延伸については、京王プラザ付近の混雑解消のために東側に延伸するのか、または西側に延伸するのか。もしくは両方を同時に整備するのか。このあたりはどうか。ブリッジの延伸は、地表面の商店との関係も考えなくてはならない。是非今後考えていきたい。

【事務局】この事業を開始して2年が経過している。その間、庁内検討会・商工会との協議を経て、バス・タクシー会社へのヒアリングも完了して協議会に臨んでいる。バス会社からは既存の施設量を確保するようにとの意見をいただいている。また、既存ストックの活用というなかで、現在あるエレベーターについては、今後検討が必要だが、構造体を残して中のエレベーターを大きなものに変えることは可能かもしれないとの見解を得ている。今後、他のいただいた意見については検討を行っていききたいと考えている。

【委員】デッキについては、地元の商店から2階部分で繋げてほしいとの意見は出ている。費用負担の面については、どのように進めていけばよいのか指導していただきたい。

【委員】駅周辺の商店街では、納得できる案であれば、全面的に協力していきたいと考えている。

【副会長】短期・中期・長期の整備について、考えていきたいと思っているが、短期についても、長期的な視点に立った上での検討を行って将来無駄にならないように、市民の方の意見を取り入れながら、考えていきたい。

【会長】次回については、今回の意見を踏まえた上で、案を出していただく形でよいか。そのような方向で進めさせていただきたい。

## (2) その他

事務局より次回協議会予定

- ・ 3月20日前後に予定。
- ・ 日程については、後日通知。また、次回にワークショップを開催するか否かについては、検討する。

## 6. 閉会（鹿島会長）

以上